世田谷プラットフォーム
中長期計画

2018（平成 30）年度～2022（令和 4）年度

2019（令和元）年 9 月

目次

1. 世田谷プラットフォームの目的とビジョン …… 1

2. 個別事業と取り組み内容 …… 1

2.1. ビジョン１ 【文化・芸術・教育】の取り組み …… 1

2.2. ビジョン２ 【地域活性】の取り組み …… 3

2.3. ビジョン３ 【産業】の取り組み …… 4

2.4. ビジョン４ 【国際化】の取り組み …… 5

2.5. ビジョン５ 【大学等の連携】の取り組み …… 6

3. 全体実施体制及び評価体制 …… 8

4. 年度別工程表 …… 9

4.1. 2018(平成 30)年度工程表 …… 9

4.2. 2019(令和元)年度工程表 …… 10

4.3. 2020(令和 2)年度工程表 …… 11

4.4. 2021(令和 3)年度工程表 …… 12

4.5. 2022(令和 4)年度工程表 …… 13

5. 中長期計画ロードマップ …… 14

6. 活動指標とアウトカム指標 …… 15

7. 2019（令和元）年度ロードマップ …… 16

8. 2019（令和元）年度部会活動計画 …… 17

1. 世田谷プラットフォームの目的とビジョン

世田谷区の複数大学、世田谷区、区内産業界の 3 者が連携のうえ、「世田谷プラットフォーム」（以下、世田谷 PF）を形成し、地域における高等教育の活性化並びに区内産業界、更には世田谷区全体の発展に寄与することを目的としています。

世田谷 PF では、連携大学が中心となり、各大学の特色化・資源集中を促し、世田谷区のステークホルダー（世田谷区で学ぶ学生生徒、世田谷区民、世田谷区の企業、世田谷区にお越しの方々、世田谷区と交流のある地方自治体　等）に対し、高等教育・実務教育の提供や、地域の課題解決のための研究協力、学生ボランティア活動等、様々なソリューションを提供することにより、以下のビジョン達成を目指します。

●ビジョン 1　【文化・芸術・教育】

世田谷の歴史・文化・芸術への理解・関心を高めるとともに、世田谷区内にある大学の教育リソースを提供することで、学びの場である地域の好感度醸成を図り、世田谷ブランドの向上を目指す。

●ビジョン 2　【地域活性】

地域課題の解決や地域振興に向けた支援体制を構築し、「安心安全に暮らし、学び、遊べる街“世田谷”」の実現を目指す。

●ビジョン 3　【産業】

産学官の連携体制を構築し、新たな商品開発や区内における就労及び起業の促進をはかり、区内産業の活性化を目指す。

●ビジョン 4　【国際化】

東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた区内での国際化対応の向上による世田谷の魅力度上昇を目指す。

●ビジョン 5　【大学等の連携】

世田谷区内にある大学等が連携を強化し、学生の成長の支援体制を強化するとともに、世田谷区で学ぶことの魅力向上を目指す。また、区外の大学等とも連携を図り、世田谷区内にある知財を地方に波及させることを目指す。

また、これらの目的やビジョンを達成することを示すアウトカム指標として、「世田谷区統計書」の数値データより「『卒業者数及び進学率・就職率(高等学校)』の進学率」、世田谷プラットフォームで毎年収集しているデータより世田谷プラットフォーム大学の「区内への就業者数」、以上の 2 つの数値データを活用することにした。

アウトカム指標 1「2022 年における区内高等学校の進学率 68.1%以上」

「世田谷区統計書（平成 30 年度版）」によると、区内高等学校を卒業し、進学する割合が 2015 年の 70.0%をピークに毎年下がっている（2018 年で 68.1%）。世田谷 PF の文化・芸術・教育の取組や、地域振興イベント、合同の募集活動等を通して、大学で学ぶことの認知を高め、進学率向上を目指す。

アウトカム指標 2「2022 年における区内就業者数 100%以上維持（2018 年度比）」

区内の産業界に従事する若年層が多くないため、高齢化社会に向けての人材確保ができていない。世田谷 PF における区内就労イベント等を通して、区内就業者数の維持を目指す。

2. 個別事業と取り組み内容

上記の 5 つのビジョンを達成するため、2018（平成 30）年度から 2022（令和 4）年度までの 5 年間を中長期計画期間とし、毎年度の取組件数の数値目標を「世田谷プラットフォーム中長期計画 活動指標とアウトカム指標」に定めていますが、各取り組みの詳細は、以下のとおりとなります。

2.1. ビジョン 1　【文化・芸術・教育】の取り組み

■高等教育の提供

No.	課題
1-1	今後も人口増加・住民の多様化が予想される世田谷区において、幅広い年齢層や地域のニーズに合わせた教育の提供が求められているが、その機会が不足している
	具体的内容等

	公開講座等により大学の知財を提供したり、「せたがや e カレッジ」による e ラーニングコンテンツを提供したりする等、大学の幅広い知財を地域住民に提供する機会を増やし、様々なニーズに合わせた教育を実施する。 【活動指標】 ① 公開講座等提供件数（e ラーニング含む） ② e ラーニング（せたがや e カレッジ含む）による講座提供数 【実施体制（主担当）】 ① 各大学（国士舘大学・駒澤大学・昭和女子大学・成城大学・東京都市大学・東京農業大学） ② せたがや e カレッジ運営委員会（国士舘大学・駒澤大学・昭和女子大学・成城大学・東京都市大学・東京農業大学・世田谷区教育委員会）
	実施時期
	① 公開講座等提供：各年度 4 月～3 月 次年度公開講座等の検討：各年度 10 月～3 月 ② e ラーニング（せたがや e カレッジ含む）による講座提供：各年度 4 月～3 月

■区内小中学校等への教育活動支援

No.	課題
1-2	大学がもつ高度で専門的な教育資源を活用し、小中学校等における教育活動の充実をはかる必要があるが、その連携が不十分である
	具体的内容等
	大学が小中学校等に講師を派遣したり、世田谷区で実施している「区立幼稚園、小・中学校等への教育活動支援事業」等に学生ボランティアを派遣したりすることで、大学がもつ高度で専門的な教育資源を活用し、小中学校等における教育活動の充実を図る。 【活動指標】 ① 教育支援活動を実施した小中学校数 ② 学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援派遣者（世田谷区「区立幼稚園、小・中学校等への教育活動支援事業」含む） 【実施体制（主担当）】 ① 各大学（国士舘大学・駒澤大学・東京都市大学） ② 世田谷区教育委員会事務局・各大学（国士舘大学・駒澤大学・昭和女子大学・成城大学・東京都市大学・東京農業大学）
	実施時期
	① 小中学校等への教育支援活動を実施：各年度 4 月～3 月（各小中学校等の依頼に応じて実施） ② 学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援：各年度 4 月～3 月 学生ボランティアの募集：各年度 4 月～5 月

■乳幼児及び保護者への支援の推進

No.	課題
1-3	乳幼児期から文化・芸術にふれることは、想像力と創造性を育み、多様な価値観を受け入れることが期待される一方で、それらは限られた環境の子どもにしか提供されていない
	具体的内容等
	乳幼児及び保護者への支援活動並びにその啓発活動を実施することで、文化・芸術・教育に関わる機会の提供及び乳幼児の情操教育へ寄与する。また、毎年開催（開催時期は不定期）される世田谷子育てメッセの活動を協力支援する。 【活動指標】 ① 乳幼児及び保護者への支援活動並びにその啓発活動の実施件数 【実施体制（主担当）】

	① 各大学（駒澤大学・東京都市大学）
	実施時期
	① 乳幼児及び保護者への支援活動並びに啓蒙活動：各年度 4 月～3 月 世田谷子育てメッセへの支援活動：各年度 1 回

■障がい者支援の推進

No.	課題
1-4	文化・芸術活動等は、障がい者が生きがいや社会参加に寄与するために必要であるが、その支援活動が不足している
	具体的内容等
	障がい者支援活動及びその啓発活動を実施することで、障がい者支援活動機会の充実を図る。 【活動指標】 ① 障がい者支援活動及びその啓発活動の実施件数 【実施体制（主担当）】 ① 各大学（駒澤大学・東京都市大学）
	実施時期
	① 障がい者支援活動及びその啓発活動の実施：各年度 4 月～3 月

2.2. ビジョン２ 【地域活性】の取り組み

■地域振興・交流イベントの推進

No.	課題
2-1	近隣同士の付き合いや地域での繋がりが希薄になっているため、地域振興や交流イベントの機会が求められている
	具体的内容等
	各大学のリソースを活用した地域振興や交流イベントの開催、及び、世田谷区や区内産業界・団体等の開催するイベントに教職員学生等を派遣したり、施設の貸出しを行ったりすることで、地域振興・交流イベントに協力する。 【活動指標】 ① イベントの開催・協力件数 【実施体制（主担当）】 ① 各大学（国士舘大学・駒澤大学・昭和女子大学・東京都市大学）
	実施時期
	① 地域振興・交流イベントの開催：各年度 6 月～3 月 次年度地域振興・交流イベントの検討：各年度 10 月～3 月 地域振興・交流イベントの協力：各年度 4 月～3 月

■防災教育の推進

No.	課題
2-2	防災教育や指導等が区内に滞在する人々に対して十分な準備が整えられていない
	具体的内容等
	各大学において、避難訓練や防災に関する教育を実施する。また、世田谷プラットフォーム合同の防災研修を実施する。2019（令和元）年度は、各大学の取り組み状況を把握するために調査を実施し、各大学の状況に合わせた防災教育等を提案する。 【活動指標】

	① 防災教育の参加者数 【実施体制（主担当）】 ① リスクマネジメント部会（部会長：国士舘大学）、各大学（国士舘大学・駒澤大学・東京都市大学）
	実施時期
	① 防災教育の実施：各年度 4 月～12 月 防災に関する調査・分析：2019（令和元）年度 9 月～12 月

2.3. ビジョン３ 【産業】の取り組み

■企業との連携推進

No.	課題
3-1	世田谷区内の産業界に従事する若年層が多くないため、高齢化社会に向けての人材確保ができていない
	具体的内容等
	世田谷区の産業界へのインターシップ参加者数を増やす取り組みを行い、区内における就労意識を高めることで、人材確保に繋げる。また、2020 年度より、大学に通いながらインターンシップを行うコーププログラムの検討を行い、2021 年度以降に実施できるよう取り組む。 【活動指標】 ① 区内産業界へのインターンシップ参加者数 【実施体制（主担当）】 ① キャリア部会（部会長：東京都市大学）、各大学（国士舘大学・駒澤大学・成城大学・東京都市大学）
	実施時期
	① インターンシップ実施：各年度 4 月～3 月 コーププログラムの検討：2020～2021 年度 コーププログラムの実施：2022 年度以降
3-2	課題
	区内産業を活性化するための教育プログラム（リカレント教育）が提供されていない
	具体的内容等
	各大学で提供する社会人向け教育プログラムに加え、区内産業を活性化するために必要な教育プログラムを開発し、提供する。教育プログラムを開発するに辺り、区内産業界で協力企業を探し、必要な教育プログラムの調査を行い、その後、大学が保有する教育リソースを活用し、教育プログラムの開発、提供を行う。 【活動指標】 ① 社会人向け教育プログラム数 【実施体制（主担当）】 ① 各大学（駒澤大学・東京都市大学）
	実施時期
	① 区内産業界の協力企業の選定：2018 年度 9 月～2019 年度 12 月 教育プログラムの調査：2019 年度 1 月～3 月 教育プログラムの開発：2020 年度 4 月～9 月 教育プログラムの提供：2020 年度 10 月～
3-3	課題
	区内産業界を活性化するための、区内産業界等との連携体制が十分でない
	具体的内容等
	世田谷「学生交流プログラム」や合同企業説明会など、学生向けのキャリア・就職関連のイベントを主催し、世田谷区や区内産業界等との連携体制を強化し、区内産業界を活性化する。 また、2020 年度以降の「学生交流プログラム」では、参画企業の増加を目指す。 【活動指標】 ① 産業イベント開催・協力件数 【実施体制（主担当）】

	① キャリア部会（部会長：東京都市大学）
	実施時期
	① 産業イベントの開催：各年度８月～１０月 「学生交流プログラム」の参画企業増加：2020 年度以降

■地域の「創業無関心者」層に、起業に関心を持ってもらうための啓発普及活動を展開

No.	課題
3-4	世田谷区は、兼業・副業や職住近接の働き方改革モデル地域として、また、多様な地域的課題を解決するコミュニティ・ビジネスの叢生モデル地域として期待されているが、地域住民や地元学生などに起業に関心のない「創業無関心者」が依然として多いため、地域ぐるみで創業機運を醸成する必要がある
	具体的内容等
	世田谷区や区内の企業や団体と協力しながら、地域住民や地元学生などを対象に「ワークショップ＆シンポジウム」、「ビジネスアイデアコンテスト」、「アントレプレナー交流会・総会」の３つのイベントを毎年開催し、地域の創業機運を醸成する。また、地域密着型のカフェや食堂・コワーキングスペースなどを活用し、下北沢・二子玉川・三軒茶屋・池尻・深沢・千歳烏山にアントレプレナー交流の地区拠点を形成し、学生・地域住民と起業家を併せた交流会を実施する。 【活動指標】 ① 創業機運醸成のためのイベント等開催数 【実施体制（主担当）】 ① 駒澤大学
	実施時期
	① ワークショップ＆シンポジウムの開催：各年度 10 月 ビジネスアイデアコンテストの開催：各年度 11 月 アントレプレナー交流会・総会の開催：各年度 12 月 地区拠点のアントレプレナー交流会の開催：各年度 4 月～3 月

2.4. ビジョン４ 【国際化】の取り組み

■国際感覚の醸成

No.	課題
4-1	世田谷区内の外国人居住者は年々増加傾向にある他、東京オリンピック・パラリンピックに向けてアメリカのホストタウンとして区内での国際化対応を推進する必要がある。
	具体的内容等
	東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた区内での国際化対応による世田谷の魅力度の向上を目覚まし、「せたがや国際ラウンジ」（留学生が自国の文化や習慣の違いなどを発表し、地域住民と交流するイベント）や「せたがや国際メッセ」（人、国、地域がつながり、交流のきっかけとなることをめざすイベント）などのイベントに協力する他、フェイスブックを活用して世田谷の魅力を発信する「Pick up Setagaya」を展開する。その他にも各大学のリソースを活用し、国際化推進イベント等を展開する。 【活動指標】 ① 国際化推進イベント参画・協力件数 【実施体制（主担当）】 ① 国際部会（部会長：成城大学）、世田谷区、各大学（国士舘大学・駒澤大学・成城大学・東京都市大学）
	実施時期
	① せたがや国際ラウンジの開催：各年度 6 月～11 月 次年度せたがや国際ラウンジの検討：各年度 10 月～3 月 せたがや国際メッセの準備：各年度 8 月～11 月 せたがや国際メッセの開催：各年度 11 月

	Pick up Setagaya：各年度 4 月～3 月 各大学等の国際化推進イベント等の開催：各年度 4 月～3 月 次年度各大学等の国際化推進イベント等の検討：各年度 10 月～3 月

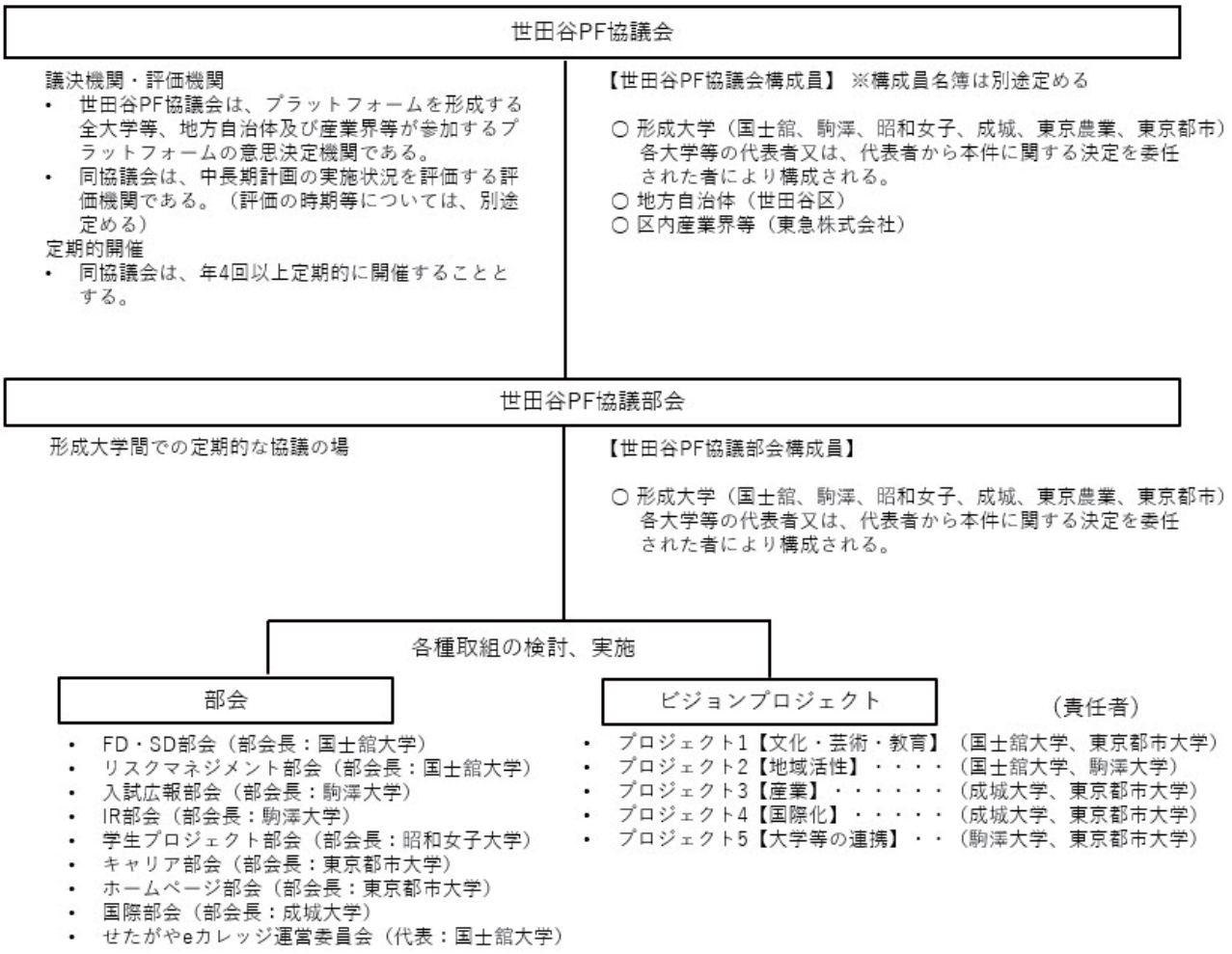
2.5. ビジョン５　【大学等の連携】の取り組み

■PF 形成校（大学・高専）の連携強化

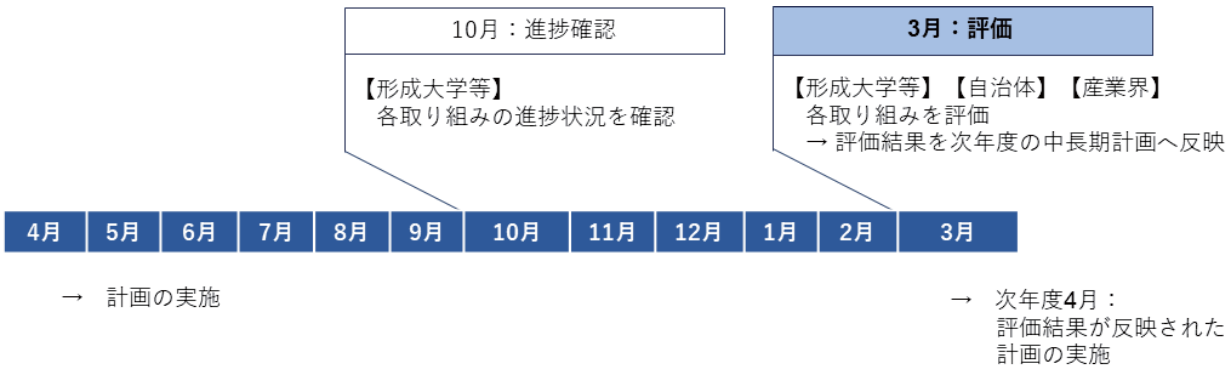
No.	課題
5-1	個別の大学の取組みのみでなく、各大学の FD・SD 活動を共有あるいは共同開催することで、効率的な教育改革あるいは大学改革を推進する必要がある
	具体的内容等
	各大学の FD・SD 活動を共有あるいは共同開催し、教育力の向上並びにスタッフ能力の開発により、世田谷区内大学の価値を高める。 【活動指標】 ① 共同 FD・SD 開催件数 【実施体制（主担当）】 ① FD・SD 部会（部会長：国士舘大学）
	実施時期
	① 共同 FD・SD の企画検討：各年度 4 月～9 月 共同 FD・SD の実施：各年度 9 月～3 月
5-2	課題
	自大学に無い科目の提供や環境の異なる大学で学ぶことにより、学生の学修意欲を高める必要がある
	具体的内容等
	世田谷 PF 内で単位互換を活用しやすい仕組みを構築するとともに、単位互換科目数を増加する。 【活動指標】 ① 共同の単位互換科目数 【実施体制（主担当）】 ① 各大学（国士舘大学・駒澤大学・東京都市大学）
	実施時期
	① 単位互換授業の実施：各年度 4 月～3 月
5-3	課題
	各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進することにより、世田谷 PF の活性化並びに大学間の教育研究等の連携強化を図る必要がある
	具体的内容等
	各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進する。 【活動指標】 ① 共同利用が可能な施設・設備登録数 【実施体制（主担当）】 ① 各大学（国士舘大学・駒澤大学・東京都市大学）
	実施時期
	① 共同利用が可能な施設・設備の提供：各年度 4 月～3 月 共同利用が可能な施設・設備の確認：各年度 3 月
5-4	課題
	世田谷区内にある 13 大学の内、現在参画しているのは 6 大学であり、区内外の参加校数を増やし、より世田谷 PF を充実する必要がある
	具体的内容等
	世田谷区で行われている大学連携に関する調整連絡会等において、世田谷プラットフォームの取り組みについて案内し、各大学の参加を呼び掛ける。

	【活動指標】 ① 参加校（大学・高専）数 【実施体制（主担当）】 ① 各大学（国士舘大学・駒澤大学・東京都市大学）
	実施時期
	① 各大学へ参加の案内：各年度 4 月～3 月
5-5	課題
	世田谷 PF 形成大学等において、共同のニーズ調査や高校訪問、説明会、広報（Web サイトやパンフレット等）活動を行い、世田谷区で学ぶことの魅力を高めていく必要がある
	具体的内容等
	6 大学合同の「保護者のための大学説明会」の開催を中心に共同の学生募集活動を展開し、世田谷 PF 形成大学の知名度を高め、世田谷で学ぶ魅力を伝える。 【活動指標】 ① 共同学生募集活動件数 【実施体制（主担当）】 ① 入試広報部会（部会長：駒澤大学）
	実施時期・期間
	① 共同学生募集活動の企画検討：各年度 4 月～7 月 保護者のための大学説明会：各年度 9 月
5-6	課題
	世田谷 PF 形成大学等において、地域課題の解決等に向けた共同のボランティア体制が整備されていない
	具体的内容等
	世田谷区の「ボランティア事業」と連携し、ボランティア体制の充実を図る。世田谷区からの学生ボランティア派遣の要請を受けて、各大学で周知し、学生ボランティアを募る。 【活動指標】 ① 学生ボランティア派遣件数 【実施体制（主担当）】 ① 各大学（国士舘大学・駒澤大学・東京都市大学）
	実施時期・期間
	① ボランティア事業の検討：2018 年度 ボランティア事業の試行期間：2019 年度 ボランティア事業実施期間：2020 年度以降

3. 全体実施体制及び評価体制



【世田谷 PF 評価時期】



4. 年度別工程表

4.1. 2018(平成 30)年度工程表

No.	事業内容	1Q	2Q	3Q	4Q
1-1	・公開講座等提供	■	■	■	■
	・次年度公開講座等の検討			■	■
	・e ラーニング（せたがや e カレッジ含む）による講座提供	■	■	■	■
1-2	・小中学校等への教育支援活動を実施	■	■	■	■
	・学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援	■	■	■	■
	・学生ボランティアの募集	■			
1-3	・乳幼児及び保護者への支援活動	■	■	■	■
	・世田谷子育てメッセへの支援活動		■		
1-4	・障がい者支援活動及びその啓発活動の実施	■	■	■	■
2-1	・地域振興・交流イベントの開催	■	■	■	■
	・次年度地域振興・交流イベントの検討			■	■
	・地域振興・交流イベントの協力	■	■	■	■
2-2	・防災教育の実施	■	■	■	■
3-1	・インターンシップ実施	■	■	■	■
3-2	・区内産業界の協力企業の選定			■	■
3-3	・産業イベントの開催		■	■	
4-1	・せたがや国際ラウンジの開催	■	■	■	
	・次年度せたがや国際ラウンジの検討			■	■
	・せたがや国際メッセの準備		■	■	
	・せたがや国際メッセの開催			■	
	・Pick up Setagaya	■	■	■	■
	・各大学等の国際化推進イベント等の開催	■	■	■	■
	・次年度各大学等の国際化推進イベント等の検討			■	■
5-1	・共同 FD・SD の企画検討	■	■		
	・共同 FD・SD の実施			■	■
5-2	・単位互換授業の実施	■	■	■	■
	・共通シラバスの作成		■		
5-3	・共同利用が可能な施設・設備の確認	■	■	■	■
	・共同利用が可能な施設・設備の確認				■
5-4	・各大学へ参加の案内	■	■	■	■
5-5	・共同学生募集活動の企画検討	■	■		
	・保護者のための大学説明会			■	
5-6	・ボランティア事業の検討	■	■	■	■

4.2. 2019(令和元)年度工程表

No.	事業内容	1Q	2Q	3Q	4Q
1-1	・公開講座等提供	■	■	■	■
	・次年度公開講座等の検討			■	■
	・e ラーニング（せたがや e カレッジ含む）による講座提供	■	■	■	■
1-2	・小中学校等への教育支援活動を実施	■	■	■	■
	・学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援	■	■	■	■
	・学生ボランティアの募集	■			
1-3	・乳幼児及び保護者への支援活動	■	■	■	■
	・世田谷子育てメッセへの支援活動			■	
1-4	・障がい者支援活動及びその啓発活動の実施	■	■	■	■
2-1	・地域振興・交流イベントの開催	■	■	■	■
	・次年度地域振興・交流イベントの検討				
	・地域振興・交流イベントの協力	■	■	■	■
2-2	・防災教育の実施	■	■	■	■
	・防災に関する調査・分析			■	■
3-1	・インターンシップ実施	■	■	■	■
3-2	・区内産業界の協力企業の選定	■	■	■	
	・教育プログラムの調査				■
3-3	・産業イベントの開催		■	■	
3-4	・ワークショップ＆シンポジウムの開催			■	
	・ビジネスアイデアコンテストの開催			■	
	・アントレプレナー交流会・総会の開催			■	
	・地区拠点のアントレプレナー交流会の開催	■	■	■	■
4-1	・せたがや国際ラウンジ	■	■	■	
	・次年度せたがや国際ラウンジの検討			■	■
	・せたがや国際メッセの準備	■	■		
	・せたがや国際メッセ			■	
	・Pick up Setagaya	■	■	■	■
	・各大学等の国際化推進イベント等の開催	■	■	■	■
	・次年度各大学等の国際化推進イベント等の検討			■	■
5-1	・共同 FD・SD の企画検討	■	■		
	・共同 FD・SD の実施			■	■
5-2	・単位互換授業の実施	■	■	■	■
	・共通シラバスの作成		■		■
5-3	・共同利用が可能な施設・設備の提供	■	■	■	■
	・共同利用が可能な施設・設備の確認				■
5-4	・各大学へ参加の案内	■	■	■	■
5-5	・共同学生募集活動の企画検討	■	■		
	・保護者のための大学説明会			■	
5-6	・ボランティア事業の試行	■	■	■	■

4.3. 2020(令和 2)年度工程表

No.	事業内容	1Q	2Q	3Q	4Q
1-1	・公開講座等提供	■	■	■	■
	・次年度公開講座等の検討			■	■
	・e ラーニング（せたがや e カレッジ含む）による講座提供	■	■	■	■
1-2	・小中学校等への教育支援活動を実施	■	■	■	■
	・学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援	■	■	■	■
	・学生ボランティアの募集	■			
1-3	・乳幼児及び保護者への支援活動	■	■	■	■
	・世田谷子育てメッセへの支援活動				
1-4	・障がい者支援活動及びその啓発活動の実施	■	■	■	■
2-1	・地域振興・交流イベントの開催	■	■	■	■
	・次年度地域振興・交流イベントの検討				
	・地域振興・交流イベントの協力	■	■	■	■
2-2	・防災教育の実施	■	■	■	■
3-1	・インターンシップ実施	■	■	■	■
	・コーププログラムの検討	■	■	■	■
3-2	・教育プログラムの開発	■	■		
	・教育プログラムの提供			■	■
3-3	・産業イベントの開催		■	■	
	・「学生交流プログラム」の参画企業増加	■	■	■	■
3-4	・ワークショップ＆シンポジウムの開催			■	
	・ビジネスアイデアコンテストの開催			■	
	・アントレプレナー交流会・総会の開催			■	
	・地区拠点のアントレプレナー交流会の開催	■	■	■	■
4-1	・せたがや国際ラウンジ	■	■	■	
	・次年度せたがや国際ラウンジの検討			■	■
	・せたがや国際メッセの準備	■	■		
	・せたがや国際メッセ			■	
	・Pick up Setagaya	■	■	■	■
	・各大学等の国際化推進イベント等の開催	■	■	■	■
	・次年度各大学等の国際化推進イベント等の検討			■	■
5-1	・共同 FD・SD の企画検討	■	■		
	・共同 FD・SD の実施			■	■
5-2	・単位互換授業の実施	■	■	■	■
	・共通シラバスの作成				■
5-3	・共同利用が可能な施設・設備の提供	■	■	■	■
	・共同利用が可能な施設・設備の確認				■
5-4	・各大学へ参加の案内	■	■	■	■
5-5	・共同学生募集活動の企画検討	■	■		
	・保護者のための大学説明会			■	
5-6	・ボランティア事業の実施	■	■	■	■

4.4. 2021(令和 3)年度工程表

No.	事業内容	1Q	2Q	3Q	4Q
1-1	・公開講座等提供	■	■	■	■
	・次年度公開講座等の検討			■	■
	・e ラーニング（せたがや e カレッジ含む）による講座提供	■	■	■	■
1-2	・小中学校等への教育支援活動を実施	■	■	■	■
	・学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援	■	■	■	■
	・学生ボランティアの募集	■			
1-3	・乳幼児及び保護者への支援活動	■	■	■	■
	・世田谷子育てメッセへの支援活動				
1-4	・障がい者支援活動及びその啓発活動の実施	■	■	■	■
2-1	・地域振興・交流イベントの開催	■	■	■	■
	・次年度地域振興・交流イベントの検討			■	■
	・地域振興・交流イベントの協力	■	■	■	■
2-2	・防災教育の実施	■	■	■	■
3-1	・インターンシップ実施	■	■	■	■
	・コーププログラムの検討	■	■	■	■
3-2	・教育プログラムの提供	■	■	■	■
3-3	・産業イベントの開催		■	■	
	・「学生交流プログラム」の参画企業増加	■	■	■	■
3-4	・ワークショップ＆シンポジウムの開催			■	
	・ビジネスアイデアコンテストの開催			■	
	・アントレプレナー交流会・総会の開催			■	
	・地区拠点のアントレプレナー交流会の開催	■	■	■	■
4-1	・せたがや国際ラウンジ	■	■	■	
	・次年度せたがや国際ラウンジの検討			■	■
	・せたがや国際メッセの準備	■	■		
	・せたがや国際メッセ			■	
	・Pick up Setagaya	■	■	■	■
	・各大学等の国際化推進イベント等の開催	■	■	■	■
	・次年度各大学等の国際化推進イベント等の検討			■	■
5-1	・共同 FD・SD の企画検討	■	■		
	・共同 FD・SD の実施			■	■
5-2	・単位互換授業の実施	■	■	■	■
	・共通シラバスの作成				■
5-3	・共同利用が可能な施設・設備の提供	■	■	■	■
	・共同利用が可能な施設・設備の確認				■
5-4	・各大学へ参加の案内	■	■	■	■
5-5	・共同学生募集活動の企画検討	■	■		
	・保護者のための大学説明会			■	
5-6	・ボランティア事業の実施	■	■	■	■

4.5. 2022(令和 4)年度工程表

No.	事業内容	1Q	2Q	3Q	4Q
1-1	・公開講座等提供	■	■	■	■
	・次年度公開講座等の検討			■	■
	・e ラーニング（せたがや e カレッジ含む）による講座提供	■	■	■	■
1-2	・小中学校等への教育支援活動を実施	■	■	■	■
	・学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援	■	■	■	■
	・学生ボランティアの募集	■			
1-3	・乳幼児及び保護者への支援活動	■	■	■	■
	・世田谷子育てメッセへの支援活動				
1-4	・障がい者支援活動及びその啓発活動の実施	■	■	■	■
2-1	・地域振興・交流イベントの開催	■	■	■	■
	・次年度地域振興・交流イベントの検討			■	■
	・地域振興・交流イベントの協力	■	■	■	■
2-2	・防災教育の実施	■	■	■	■
3-1	・インターンシップ実施	■	■	■	■
	・コーププログラムの実施	■	■	■	■
3-2	・教育プログラムの提供	■	■	■	■
3-3	・産業イベントの開催		■	■	
	・「学生交流プログラム」の参画企業増加	■	■	■	■
3-4	・ワークショップ＆シンポジウムの開催			■	
	・ビジネスアイデアコンテストの開催			■	
	・アントレプレナー交流会・総会の開催			■	
	・地区拠点のアントレプレナー交流会の開催	■	■	■	■
4-1	・せたがや国際ラウンジ	■	■	■	
	・次年度せたがや国際ラウンジの検討			■	■
	・せたがや国際メッセの準備	■	■		
	・せたがや国際メッセ			■	
	・Pick up Setagaya	■	■	■	■
	・各大学等の国際化推進イベント等の開催	■	■	■	■
	・次年度各大学等の国際化推進イベント等の検討			■	■
5-1	・共同 FD・SD の企画検討	■	■		
	・共同 FD・SD の実施			■	■
5-2	・単位互換授業の実施	■	■	■	■
	・共通シラバスの作成				■
5-3	・共同利用が可能な施設・設備の提供	■	■	■	■
	・共同利用が可能な施設・設備の確認				■
5-4	・各大学へ参加の案内	■	■	■	■
5-5	・共同学生募集活動の企画検討	■	■		
	・保護者のための大学説明会			■	
5-6	・ボランティア事業の実施	■	■	■	■

世田谷プラットフォーム中長期計画ロードマップ

No.	事業内容	2018（H30）年度				2019（R1）年度				2020（R2）年度				2021（R3）年度				2022（R4）年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1-1	・公開講座等提供																				
	・次年度公開講座等の検討																				
	・e ラーニング（せたがや e カレッジ含む）による講座提供																				
1-2	・小中学校等への教育支援活動を実施																				
	・学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援																				
	・学生ボランティアの募集																				
1-3	・乳幼児及び保護者への支援活動																				
	・世田谷子育てメッセへの支援活動																				
1-4	・障がい者支援活動及びその啓発活動の実施																				
2-1	・地域振興・交流イベントの開催																				
	・次年度地域振興・交流イベントの検討																				
	・地域振興・交流イベントの協力																				
2-2	・防災教育の実施																				
	・防災に関する調査・分析																				
3-1	・インターンシップ実施																				
	・コーププログラムの検討																				
	・コーププログラムの実施																				
3-2	・区内産業界の協力企業の選定																				
	・教育プログラムの調査																				
	・教育プログラムの開発																				
	・教育プログラムの提供																				
3-3	・産業イベントの開催																				
	・「学生交流プログラム」の参加企業増加																				
3-4	・ワークショップ＆シンポジウムの開催																				
	・ビジネスアイデアコンテストの開催																				
	・アントレプレナー交流会・総会の開催																				
	・地域拠点のアントレプレナー交流会の開催																				
4-1	・せたがや国際ラウンジの開催																				
	・次年度せたがや国際ラウンジの検討																				
	・せたがや国際メッセの準備																				
	・せたがや国際メッセの開催																				
	・Pick up Setagaya																				
	・各大学等の国際化推進イベント等の開催																				
	・次年度各大学等の国際化推進イベント等の検討																				
5-1	・共同 FD・SD の企画検討																				
	・共同 FD・SD の実施																				
5-2	・単位互換授業の実施																				
	・共通シラバスの作成																				
5-3	・共同利用が可能な施設・設備の提供																				
	・共同利用が可能な施設・設備の確認																				
5-4	・各大学へ参加の案内																				
5-5	・共同学生募集活動の企画検討																				
	・保護者のための大学説明会																				
5-6	・ボランティア事業の検討																				
	・ボランティア事業の試行																				
	・ボランティア事業の実施																				

世田谷プラットフォーム中長期計画 活動指標とアウトカム指標

2019（令和元）年9月26日
世田谷プラットフォーム協議会　決定

ビジョン1　【文化・芸術・教育】
世田谷の歴史・文化・芸術への理解・関心を高めるとともに、世田谷区内にある大学の教育リソースを提供することで、　学びの場である地域の好感度醸成を図り、世田谷ブランドの向上を目指す。

ビジョン2　【地域活性】
地域課題の解決や地域振興に向けた支援体制を構築し、「安心安全に暮らし、学び、遊べる街“世田谷”」の実現を目指す。

ビジョン3　【産業】
産学官の連携体制を構築し、新たな商品開発や区内における就労及び起業の促進をはかり、区内産業の活性化を目指す。

ビジョン4　【国際化】
東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた区内での国際化対応の向上による世田谷の魅力度上昇を目指す。

ビジョン5　【大学等の連携】
世田谷区内にある大学等が連携を強化し、学生の成長の支援体制を強化するとともに、世田谷区で学ぶことの魅力向上を目指す。　また、区外の大学等とも連携を図り、世田谷区内にある知財を地方に波及させることを目指す。

■上段数値：各大学が独自で実施している取組の件数（6大学の合計値）
■下段数値：上記の内、世田谷PFの活動としての取組件数

	課　題	取　組	No	活動指標	実績値 2017	実績値 2018	数値目標 2019	数値目標 2020	数値目標 2021	数値目標 2022	達成目標	計画全体のアウトカム指標
1 文化・芸術・教育	1-1 今後も人口増加・住民の多様化が予想される世田谷区において、幅広い年齢層や地域のニーズに合わせた教育の提供が求められているが、その機会が不足している	高等教育の提供	①	公開講座等提供件数（eラーニング含む）	306件 (1)	300件 (11)	315件 (12)	320件 (13)	330件 (14)	340件 (15)	大学の幅広い知財を地域住民に提供する機会を増やし、様々なニーズに合わせた教育を実施する	【1】2022年における区内高等学校の進学率68.1%以上 「世田谷区統計書（平成30年度版）」によると、区内高等学校を卒業し、進学する割合が2015年の70.0%をピークに毎年下がっている（2018年で68.1%）。世田谷PFの文化・芸術・教育の取組や、地域振興イベント、合同の募集活動等を通して、大学で学ぶことの認知を高め、進学率向上を目指す。
			②	eラーニング（せたがやeカレッジ含む）による講座提供件数	3件	10件	8件	9件	10件	11件		
	1-2 大学がもつ高度で専門的な教育資源を活用し、小中学校等における教育活動の充実をはかる必要があるが、その連携が不十分である	区内小中学校等への教育活動支援	③	教育支援活動を実施した小中学校数	68校	49校	62校	64校	66校	68校	大学がもつ高度で専門的な教育資源の活用による、小中学校等における教育活動の充実	
			④	学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援派遣者（世田谷区「区立幼稚園、小・中学校等への教育活動支援事業」含む）	90名	70名	75名	75名	75名	75名		
	1-3 乳幼児期から文化・芸術にふれることは、想像力と創造性を育み、多様な価値観を受け入れることが期待される一方で、それらは限られた環境の子どもにしか提供されていない	乳幼児及び保護者への支援の推進	⑤	乳幼児及び保護者への支援活動並びにその啓発活動の実施件数	9件 (1)	9件 (1)	10件 (2)	10件 (3)	10件 (4)	10件 (6)	文化・芸術・教育に関わる機会の提供及び乳幼児の情操教育への寄与	
	1-4 文化・芸術活動等は、障がい者が生きがいや社会参加に寄与するために必要であるが、その支援活動が不足している	障がい者支援の推進	⑥	障がい者支援活動及びその啓発活動の実施件数	12件 (1)	12件 (2)	13件 (2)	13件 (3)	13件 (4)	13件 (6)	障がい者支援活動機会の充実	
2 地域活性	2-1 近隣同士の付き合いや地域での繋がりが希薄になっているため、地域振興や交流イベントの機会が求められている	地域振興・交流イベントの推進	⑦	イベントの開催・協力件数	87件 (0)	87件 (3)	90件 (12)	95件 (14)	100件 (16)	105件 (18)	地域課題の解決や地域振興に向けた支援体制を構築し、「安心安全に暮らし、学び、遊べる街世田谷」の実現	
	2-2 防災教育や指導等が区内に滞在する人々に対して十分な準備が整えられていない	防災教育の推進		防災教育の参加者数	18045名	17544名	17500名	17500名	17500名	17500名		
3 産業	3-1 世田谷区内の産業界に従事する若年層が多くないため、高齢化社会に向けての人材確保ができていない	企業との連携推進	⑧	区内産業界へのインターンシップ参加者数	136名	93名	160名	170名	180名	190名	産学官の連携体制を構築し、区内における就労及び新たな商品開発や起業の促進をはかることにより、区内産業を活性化	【2】2022年における区内就業者数100%以上維持（2018年度比） 区内の産業界に従事する若年層が多くないため、高齢化社会に向けての人材確保ができていない。世田谷PFにおける区内就労イベント等を通して、区内就業者数の維持を目指す。
			アウトカム指標と同様	区内への就業者数	195名	177名	150名	160名	170名	180名		
	3-2 区内産業を活性化するための教育プログラム（リカレント教育）が提供されていない			社会人向け教育プログラム数	16件 (0)	15件 (0)	試行	実施				
	3-3 区内産業界を活性化するための、区内産業界等との連携体制が十分でない		⑨	産業イベント開催・協力件数	5件	6件	7件	10件	12件	14件		
	3-4 世田谷区は、兼業・副業や職住近接の働き方改革モデル地域として、また、多様な地域的課題を解決するコミュニティ・ビジネスの裏モデル地域として期待されているが、地域住民や地元学生などに起業に関心のない「創業無関心者」が依然として多いため、地域ぐるみで創業機運を醸成する必要がある	地域の「創業無関心者」層に、起業に関心を持ってもらうための啓発普及活動を展開	⑩	創業機運醸成のためのイベント等開催数	－	－	3件	3件	3件	3件		
4 国際化	4-1 東京オリンピック・パラリンピックに向けてアメリカのホストタウンとして区内での国際化対応を推進する必要がある。	国際感覚の醸成		国際化推進イベント参画・協力件数	42件 (0)	28件 (0)	44件 (4)	45件 (4)	46件 (4)	47件 (4)	東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた区内での国際化対応による世田谷の魅力度の向上	
5 大学等の連携	5-1 個別の大学の取組みのみでなく、各大学のFD・SD活動を共有あるいは共同開催することで、効率的な教育改革あるいは大学改革を推進する必要がある	PF形成校（大学・高専）の連携強化		共同FD・SD開催件数	1件	3件	2件	2件	2件	6件	教育力の向上並びにスタッフ能力の開発により、世田谷区内大学の価値を高める	
	5-2 自大学に無い科目の提供や環境の異なる大学で学ぶことにより、学生の学修意欲を高める必要がある			共同の単位互換科目数	252科目	248科目	248科目	248科目	248科目	248科目	世田谷PF内で単位互換を活用しやすい仕組みを構築するとともに単位互換科目数の増加する	
	5-3 各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進することにより、世田谷PFの活性化並びに大学間の教育研究等の連携強化を図る必要がある			共同利用が可能な施設・設備登録数	4件	608件	608件	608件	608件	608件	各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進する	
	5-4 世田谷区内にある13大学の内、現在参画しているのは6大学であり、区内外の参加校数を増やし、より世田谷PFを充実する必要がある			参加校（大学・高専）数	6校	6校	9校	10校	11校	13校	区内外への参加を呼びかけ、参加校を増やし、世田谷PFの効果を高める	
	5-5 世田谷PF形成大学等において、共同のニーズ調査や高校訪問、説明会、広報（Webサイトやパンフレット等）活動を行い、世田谷区で学ぶことの魅力を高めていく必要がある		⑪	共同学生募集活動件数	7件	9件	8件	8件	8件	8件	世田谷PF形成大学の知名度を高め、世田谷で学ぶ魅力を伝えるために、共同学生募集活動を推進する	上記【1】と同じ
	5-6 世田谷PF形成大学等において、地域課題の解決等に向けた共同のボランティア体制が整備されていない			学生ボランティア派遣件数（世田谷区「ボランティア事業」との連携）	－	検討	試行	実施			ボランティア体制の充実	

世田谷PF　中長期計画ロードマップ【2019(令和元)年度計画】

ビジョン	取組	活動指標	2019（令和元）年4-6月 4	5	6	7-9月 7	8	9	10-12月 10	11	12	2020（令和2）年1-3月 1	2	3
1 文化・芸術・教育	高等教育の提供	公開講座				▶市民ロースクール（7/13）								
		eラーニングによる講座	▶通年：せたがやeカレッジ講座提供											
	区内小中学校等への教育活動支援	教育支援活動												
		学生ボランティア派遣者	▶計画検討・推進											
	乳幼児及び保護者への支援の推進	乳幼児支援					▶子育てメッセ							
	障がい者支援の推進	障がい者支援	▶計画検討・推進											
2 地域活性	地域振興・交流イベントの推進	イベントの開催・協力	▶計画検討・推進			▶こども大学 in 駒沢（7/28）			▶スポーツフェスティバル in 二川（10/6）			▶みんなの発表会 in 駒沢（3/15）		▶
	防災教育の推進	防災教育	▶加盟大学の防災訓練等の調査と案				▶調査依頼			▶調査分析、防災研修会実施		▶各大学に提案		
3 産業	企業との連携推進	インターンシップ												
		区内への就業	▶通年：キャリア部会担当者間での情報共有					▶合同就職イベント（9/5、6）	▶合同就職		▶11月以降：キャリア事例共有会開催			
		社会人向け教育プログラム												
		産業イベント開催・協力			▶産業界との調整									
4 国際化	国際感覚の醸成	国際化推進イベント参画・協力			▶米国大使館特別講演会（6/14）			▶留学生地域交流事業（9/21）	▶せたがや国際ラウンジ		▶せたがや国際メッセ			
5 大学等の連携	PF形成校（大学・高専）の連携強化	共同FD・SD開催	▶合同SD、FDフォーラムの計画検討					▶「FD活動の異議と現状」（9/20）		▶合同SD研修会開催				
		共同の単位互換	▶前期：共同単位互換実施（駒澤・東京都市）					▶後期：共同単位互換実施（駒澤・東京都市）						
		共同利用が可能な施設・設備	▶施設・設備の共同利用維持（通年）											
		参加校（大学・高専）		▶他大学等への呼びかけ										
		共同学生募集活動	▶共同Web見直し検討				▶Web予約開始	▶合同保護者向け説明会（9/14）						
		学生ボランティア派遣												

● 年度計画の検討・策定 → ● 報告会 10/28 in駒澤大 → ● 中間評価 → ● 期末評価評価 → ● 評価結果の反映

計画全体（上記1～5）　● 計画の推進（通年）

2019（令和元）年度 世田谷 PF 年間活動計画

■FD・SD 部会（部会長：国士舘大学）

具体的内容等
① 合同 SD 研修会 テーマ：大学基礎知識 内 容：基調講演、グループワーク ② 合同 FD PF 形成大学主催の FD フォーラム等を共同開催または後援する。 引き続き、合同 FD フォーラム等の開催を検討する。
実施時期・期間
① 10 月（半日） ② FD 形成大学主催の FD フォーラム等の計画が決定後、調整する。10 月以降

■リスクマネジメント部会（部会長：国士舘大学）

具体的内容等
世田谷プラットフォーム加盟大学で実施している、避難訓練や防災に関係する教育等の調査を行い掌握する。その後、各大学の状況に合わせた防災教育等を提案する。また、昨年度に引き続き、防災研修会（講演・避難所運営）を実施する。
実施時期・期間
・5 月～7 月調査票立案 ・9 月～10 月各大学に調査依頼及び実施・回収 ・11 月～12 月調査分析、防災研修会実施 ・1 月～2 月各大学に提案

■入試広報部会（部会長：駒澤大学）

具体的内容等
昨年度に引き続き、6 大学合同の「保護者のための大学説明会」を実施予定。また、前期中に昨年度の活動報告、文部科学省の採択報告、上記の進行や広報等について部会を開催予定。
実施時期・期間
【世田谷プラットフォーム連携大学「保護者のための大学説明会 in 二子玉川」】 日 程：9 月 14 日（土）午前の部 10：00～13：00・午後の部 13：30～16：30 会 場：東京都市大学・二子玉川夢キャンパス 事前予約：午前・午後の部 先着各 100 組 8 月 27 日（火）から WEB 予約（※）開始予定 （※）http://setagaya-univ.jp/ 世田谷プラットフォーム協定大学情報サイト 【入試広報部会】 日 程：調整中（6 月～7 月頃に開催予定） 場 所：駒澤大学（幹事校）

■IR 部会（部会長：駒澤大学）

具体的内容等
・世田谷 PF の中間評価、期末評価のデータ収集（協定大学に依頼し集計する。） ・「IR 分析報告書」作成（協議会で承認後、世田谷 PF ホームページに公開する。） ・IR 部会開催予定
実施時期・期間
・2019（令和元）年 10 月中間評価、2020（令和 2）年 2 月期末評価、2020（令和 2）年 4 月期末評価(基準日 3 月末)データ依頼 ・2020（令和 2）年 3 月 IR 分析報告書作成 ・IR 部会開催(年内に 1 回開催予定)

■学生プロジェクト部会（部会長：昭和女子大学）

具体的内容等
学生プロジェクトに関する各大学の取り組みについて、情報交換及び学生発表を通じ、更なる発展を目指す。
実施時期・期間
9 月～12 月：部会開催（各大学の取り組みについて情報交換） 2 月：昭和女子大学プロジェクト研究発表会開催（世田谷 PF 共催） 　　各大学の教職員及び学生も参加可能として、各大学の取組の発展につなげる。

■キャリア部会（部会長：東京都市大学）

具体的内容等
①　学生向けのキャリア・就職関連のイベントを主催 ②　キャリア関連の事例を共有する機会を設ける ③　キャリア部会担当者間での情報共有を行う
実施時期・期間
①　イベント開催　9 月 5、6 日（世田谷学生交流プログラム）、10 月中旬に実施 ②　キャリア関連の事例共有機会 11 月～2 月の期間に実施 ③　キャリア部会担当者間での情報共有　4 月～3 月

■ホームページ部会（部会長：東京都市大学）

具体的内容等
世田谷 PF 共同ホームページの仕組みづくりと世田谷 PF 活動内容の発信
実施時期・期間
・4 月～12 月：ホームページの見直し検討（仕様検討、見積作成、予算分担案検討） ・4 月～9 月：各種情報の更新・公開（2019（令和元）年度計画表、ロードマップ更新版、IR 情報更新版等） ・通年：トピックス掲載

■国際部会（部会長：成城大学）

具体的内容等
東京 2020 オリンピック・パラリンピックを前に、訪日外国人とのコミュニケーションのとり方を学び、世田谷区の地域住民が主体的にオリ・パラに関わる方法を模索する国際理解教育の推進事業を行う。 フェーズⅠでは、視覚障がい者であるゲストスピーカーより東京でのチャレンジングな生活についての講演と、「東京を障がい者の生活のしやすい街にする/Raising awareness of the accessibility in Tokyo」というテーマで話し合い、情報発信と人々の意識を高める為のユニークなキャンペーンの提案をする。 また、英語教育や国際交流関係の著者であるダニエル・カール氏の講演会と英会話のワークショップを実施。フェーズⅡでは、日本在住の外国人とのより深いコミュニケーションについて考える機会を持つ。 フェーズⅢでは、本事業の総評と情報発信を行う。
実施時期・期間
6 月 14 日（金）米国大使館特別講演会「Tokyo 2020 Paralympics - What the world expects of Tokyo」 ①　Uyanga Erdenebold さん講演（視覚障がいを持つ、元在モンゴル米国大使館職員。米国人のご主人の在東京米国大使館への異動に伴い東京で生活をされている） ②　学生ディスカッションと発表 **9 月 21 日（土）公益財団法人中島記念国際交流財団助成「2019 年度留学生地域交流事業」** 「東京 2020 オリンピック・パラリンピックで国際交流　～使える英語はこう学ぶ！～」 ①　ダニエル・カール氏講演　「使える英語はこう学ぶ！」 ②　ワークショップ　「使える英語で留学生とコミュニケーション」 　　予定参加者：成城大学学生・世田谷区内留学生・教職員・世田谷区民 **11 月 9 日（土）せたがや国際ラウンジ「外国人の困る日本語～バイト敬語・和製英語・カタカナ語～」** 世田谷区民と留学生が、外国人が日々の生活で困る日本語について事例をあげて紹介し、どのような言葉を選べば（避ければ）外国人とのコミュニケーションが円滑に取れるかという事を話し合う。グループごとにまとめて発表し、最終的には区報や区のホームページ等で紹介を目指す。 **11 月 16 日（土）せたがや国際メッセにて発表** 会場において、掲示などを使い本事業の情報発信を行う。

新型コロナウイルスの影響により、計画の見直しを行う場合があります。

世田谷PF　中長期計画ロードマップ【2020(令和2)年度計画】

ビジョン	取組	活動指標	2020（令和2）年4-6月 4	5	6	7-9月 7	8	9	10-12月 10	11	12	2021（令和3）年1-3月 1	2	3
1 文化・芸術・教育	高等教育の提供	公開講座	▶通年：せたがやカレッジによる公開講座提供											
		eラーニングによる講座												
	区内小中学校等への教育活動支援	教育支援活動	▶オンラインによる実施を含めて、計画検討中					▶世田谷区と連携した教育活動を実施予定（時期未定）				▶オンラインによる講座提供（時期未定）		
		学生ボランティア派遣者	▶計画検討・推進											
	乳幼児及び保護者への支援の推進	乳幼児支援						▶世田谷区と連携した乳幼児向け教育を実施予定（時期未定）						
	障がい者支援の推進	障がい者支援	▶計画検討・推進											
2 地域活性	地域振興・交流イベントの推進	イベントの開催・協力	▶計画検討・推進									▶共生社会ホストタウン事業		
	防災教育の推進	防災教育	▶留学生の災害に関する調査（学年歴の変更等により時期を見直す）								▶災害対応力講習【基礎訓練】		▶PF内外に向けたシンポジウム開催	
3 産業	企業との連携推進	インターンシップ												
		区内への就業	▶通年：キャリア部会担当者間での情報共有					▶学生交流プログラム	▶就職先未決定学生向け就職イベント		▶面接対策講座			
		社会人向け教育プログラム												
		産業イベント開催・協力			▶産業界との調整									
4 国際化	国際感覚の醸成	国際化推進イベント参画・協力			▶留学生リーダー会合			▶アイルランド大使特別講演会	▶スポーツ＆文化交流		▶総評と情報発信			
5 大学等の連携	PF形成校（大学・高専）の連携強化	共同FD・SD開催	▶合同SD、FDフォーラムの計画検討			（合同FDフォーラムは6月以降の実施）				▶合同SD研修会開催				
		共同の単位互換	▶前期：共同単位互換実施（駒澤・東京都市）					▶後期：共同単位互換実施（駒澤・東京都市）						
		共同利用が可能な施設・設備	▶施設・設備の共同利用維持（通年）											
		参加校（大学・高専）		▶他大学等への呼びかけ										
		共同学生募集活動			▶入試広報部会			▶保護者のための大学説明会						
		学生ボランティア派遣												

計画全体（上記1～5）

- ●年度計画の検討・策定 →
- ●中間評価 →
- ●期末評価 →
- ●計画の推進（通年） →

新型コロナウイルスの影響により、計画の見直しを行う場合があります。

2020 年 7 月 3 日

世田谷 PF 協議会

2020（令和 2）年度 世田谷 PF 年間活動計画

■FD・SD 部会（部会長：国士舘大学）

具体的内容等
① 合同 SD 研修会 テーマ：「大学の基礎知識を学ぶ」 内　容：基調講演、グループワーク 対　象：新採用職員 1 年目～3 年目程度 ※平成２８年度から行っている合同ＳＤ研修会を令和２年度も開催する。 ② 合同 FD PF 形成大学主催の FD フォーラム等を共同開催または後援する。 引き続き、合同 FD フォーラム等の開催を検討する。 ※世田谷 PF 形成大学の FD 活動を共有し、各大学において授業改善等に役立つ内容となるよう企画立案する。
実施時期・期間
① 令和 2 年 11 月 13 日（金）午後 ② FD 形成大学主催の FD フォーラム等の計画が決定後、各大学に周知する。 また、合同 FD フォーラム等の開催は令和 2 年 6 月以降の実施を目標に計画する。

■リスクマネジメント部会（部会長：国士舘大学）

具体的内容等
① 留学生の災害に関する背景調査 世田谷 PF 大学の留学生は約 1,000 名以上在籍している。日本人は幼少のころから防災訓練等を町内会や学校等で定期的に受ける機会があり蓄積された知識も持っている。外国の災害の少ない国と地域では、防災に対する意識や訓練等の機会もない。来日している留学生達の、災害に関する背景についての調査を実施し、多くの留学生を抱える大学機関において利用できる留学生のための防災ガイドブック等の作成を行うことを目的として調査を実施する。 ② 災害対応力講習【基礎訓練】 発災直後の 72 時間を独力で生き延びる時間と位置付け、その対応と準備を中心に、実用的な災害対応能力を広範にわたって学習します。
実施時期・期間
① 令和 2 年 4~5 月予定（新型コロナウイルス感染症対策による学年歴の変更等により変更する場合もある） ② 令和 2 年 12 月中旬予定

■入試広報部会（部会長：駒澤大学）

具体的内容等
昨年度に引き続き、6 大学合同の「保護者のための大学説明会」を実施予定。 また、前期中に昨年度の活動報告、文部科学省の採択報告、上記の進行や広報等について部会を開催予定。
実施時期・期間
【世田谷プラットフォーム連携大学「保護者のための大学説明会 in 二子玉川」】 日　程：9 月 22 日（火・祝）午前の部 10：00～13：00・午後の部 13：30～16：30 会　場：東京都市大学・二子玉川夢キャンパス 事前予約：午前・午後の部 先着各 100 組（WEB サイトにて事前予約） ※予約開始時期は未定 【入試広報部会】 日　程：調整中（2020 年 6 月～7 月頃に開催予定） 場　所：駒澤大学（幹事校）

■IR 部会（部会長：駒澤大学）

具体的内容等
・世田谷 PF の中間評価、期末評価のデータ収集（協定大学に依頼し集計する。） ・「IR 分析報告書」作成（協議会で承認後、世田谷 PF ホームページに公開する。） ・IR 部会開催予定
実施時期・期間
・2020 年 10 月中間評価、2021 年 3 月期末評価(基準日 3 月末)データ依頼 ・2021 年 3 月 IR 分析報告書作成 ・IR 部会開催(年内に 1 回開催予定)

■学生プロジェクト部会（部会長：昭和女子大学）

具体的内容等
・学生プロジェクト関連の報告会を開催する。（参加者：各大学の教職員および学生） ・各大学の学生プロジェクトの取り組みについて、情報交換を行う。
実施時期・期間
1 ～ 3 月 ・プロジェクト報告会の開催。 ・情報交換は、プロジェクト報告会の前後で行う。

■キャリア部会（部会長：東京都市大学）

具体的内容等
（コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催を検討中） ①学生向けキャリア・就職関連のイベントを開催 ②キャリア部会担当者間での情報共有を行う

実施時期・期間
①イベント開催 9 月：世田谷学生交流プログラム、10 月：就職先未決定学生向け就職イベント、12 月：面接対策講座 ②キャリア部会担当者間での情報共有　4 月～3 月

■ホームページ部会（部会長：東京都市大学）

具体的内容等
世田谷 PF の Web サイトは、第 1 階層を除いてモバイル端末に対応していない。一方で、ここ数年のアクセス解析によると、タブレットを含むモバイル端末のユーザーの閲覧が徐々に増えており、現在では、全体の 4 割以上を占めている。このことから、本 Web サイトのユーザビリティ向上のため、全ページにおけるモバイル端末対応を実施する。
実施時期・期間
2020 年 11 月頃実施予定

■国際部会（部会長：成城大学）

具体的内容等
世田谷区内の留学生ネットワークを構築することにより、留学生同士の情報交換（生活・学習／研究・就職活動等）の機会を作り、留学生が主体となる活動の幅を広げることを目的とする。 本年度は、組織づくりとグローバルリーダーの講演会やスポーツ交流を行い、他大学の留学生との交流を深める機会を提供する。構築したネットワークを生かし、来年以降は日本人学生や地域住民との交流を行い、地域の国際化に貢献することを目指す。
実施時期・期間
【世田谷 6 大学　留学生リーダー会合】 日　時：　第 1 回・2 回　5～7 月、第 3 回　12 月 会　場：　成城大学 参加者：　世田谷 6 大学の留学生代表 第 1 回　世田谷 6 大学に所属する留学生団体のリーダーが集合し、世田谷区の留学生のネットワーク形成について話し合いを行う。　（目的・活動・組織） 第 2 回　2020 年度後期に行う交流イベントについて（役割分担・周知方法） 第 3 回　今年度の活動のまとめと次年度の活動計画 【アイルランド大使特別講演会】　「グローバルリーダーと話そう！アイルランドに学ぶネットワークの作り方」 日　時：　9 月～12 月の土曜日 講　師：　ポール・カヴァナ駐日アイルランド大使 会　場：　成城大学 007 教室 参加者：　世田谷 6 大学の留学生・学生・教職員（定員 200 名） 内　容：　アイルランドの歴史、文化、政治、経済、及び、日本や EU との繋がりについての講演。 今や GDP の伸び率は前年比 7.2%(2017 年）と、欧州連合（EU）の加盟国でトップになり、海外からの投資や高い教育水準など、欧州経済のけん引役の一翼を担うアイルランド。 EU 加盟でネットワークを広げることにより、経済市場の拡大のみならず、社会・政治など様々な分野でまとまり、EU 圏の平和と共存・共栄を図ってきた現状から、留学生ネットワーク構築について考えるヒントを得る。

第一部　ポール・カヴァナ駐日アイルランド大使講演と質疑応答
第二部　アイルランドのトリビアクイズ大会
アイルランド音楽とダンス（CCÉ　アイルランド音楽家協会）

【スポーツ＆文化交流を通してネットワークを広げよう！】
日　時：　10 月 10 日（土）　予定
講　師：　日本ゲーリックフットボール・クラブ（JAPAN　GAA)、CCÉ アイルランド音楽家協会
会　場：　成城大学　第一グラウンド
参加者：　世田谷区内留学生・学生・教職員（約 100 名）

第一部　アイルランドの伝統スポーツ「ゲーリック・ゲームズ」とアイリッシュダンスの紹介
第二部　ゲーリック・フットボールとハーリングの体験　・アイリッシュダンス体験
第三部　留学生懇親会

【総評と情報発信】
日　時：12 月中旬
内　容：「世田谷国際メッセ」で世田谷区留学生ネットワーク結成報告を行う

■学生イベント協力部会（部会長：東京農業大学）

具体的内容等
計画検討中
実施時期・期間
計画検討中